SEIKO

NetwiSer

Load Balancer / SSL

SX-3850
SX-3845
SX-3840

取扱説明書

ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、お手元に置いていつでも使えるようにしてください。

セイコーソリューションズ株式会社

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
製品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を、必ずお読みください。
またお読みになった後は、いつでもお使いいただけるように大切に保管してください。

Copyright © 2014　セイコーソリューションズ株式会社

- セイコーソリューションズ株式会社の文書による許可なく、本書の全部または一部の複製、転載および改変などを行うことはできません。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載された製品（ソフトウェアを含む）の使用に起因する損失、逸失利益などの請求につきましては、いかなる責任も負いかねます。
- 本書に記載された製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格などには準拠していません。外国において使用された場合、いかなる責任も負いかねます。
- 本書に従い、正しい取扱いをしてください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

本書は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、守っていただきたい事項を示しています。
内容をよく理解してから本文をお読みいただくようお願いいたします。

絵表示と図記号の意味

本体および説明書に使われる表示

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容を示しています。

本体および説明書に使われる絵表示

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電する「危険」があることを示しています。
	この表示は、分解してはいけないという、「禁止」を示しています。
	この表示は、してはいけない、「禁止」行為であることを示しています。
	この表示は、必ず実行していただきたい内容を示しています。
	この表示は、必ず電源プラグをコンセントから抜いていただきたいことを示しています。
	この表示は、必ずアース線を接続していただきたいことを示しています。

説明書により使われることがある表示と図記号

お願い	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できず、機能停止をまねく内容を示しています。
！ﾜﾝﾎﾟｲﾝﾄ	この表示は本商品を取り扱う上で知っておくと便利な内容、もしくは間違いを防ぐ内容を示しています。

本書に記載された製品（ソフトウェアを含む）の使用に起因する損失、逸失利益などの請求につきましては、いかなる責任も負いかねます。

上記の各表示と図記号は機器および説明書によって使用しない場合があります。

⚠ 警告

	＜本機＞の分解（ネジをとる、ふたを外すなど)、および改造を行わないでください。火災・感電の原因となります。
	異常音がしたり、＜本機＞が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて弊社サービス窓口に点検をご依頼ください。
	万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、その後、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して弊社サービス窓口に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	＜ＡＣ１００／２００Ｖ電源＞以外では、絶対に使用しないでください。また、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
	＜電源コード＞を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重いものを乗せたり、加熱したりすると＜電源コード＞が破損し、火災・感電の原因となります。＜電源コード＞が傷んだら弊社サービス窓口に修理をご依頼ください。
	万一、内部に異物（金属片、水、液体など）が入った場合は、まず本体の電源を切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、弊社サービス窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	＜本機＞の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水および飲み物の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。(必ずプラグを持って抜いてください。）コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
	＜本機＞を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
	電源プラグは奥まで確実に挿入してください。火災、感電の原因となることがあります。
	万一、＜本機＞を落としたり、破損した場合、本体の電源を切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、弊社サービス窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

本書の使い方

- 本書は、ＳＸ－３８４０／４５／５０ ロードバランサの取扱説明書です。
- 本書では、ハードウェア概要、ハードウェアの操作を記述します。
- ＳＸ－３８４０／４５／５０関連の書物には、本書の他に「導入・運用の手引」があります。
- 機能、使用方法などは「導入・運用の手引」をご参照ください。

NetwiSer は、セイコーソリューションズ株式会社の登録商標です。
ETHERNET／イーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

－ 目　次 －

第１章 概要 …… 7
１.１ 構成概要 …… 7
１.２ 諸元 …… 9
１.３ 外部資源 …… 10
１.４ 外観図 …… 11

第２章 各部の名称と説明 …… 13
２.１ 前面部（ＳＸ－３８４０） …… 13
２.２ 前面部（ＳＸ－３８４５／５０） …… 16
２.３ 背面部（ＳＸ－３８４０／４５／５０共通） …… 18

第３章 設置前の作業 …… 19
３.１ 設置環境の確認 …… 19
３.２ 保守エリアの確保 …… 20
３.３ 供給電源の確認 …… 21

第４章 設置作業 …… 23
４.１ ラックマウント方法 …… 24
４.１.１ ラックマウントキット …… 25
４.１.２ 外観図 …… 26
４.１.３ ラックへの取付け …… 27
４.２ 設置確認作業 …… 31

第５章 参考 …… 33
５.１ ＬＡＮポート用ストレートケーブル …… 33
５.２ Ｄサブ９ピン／ＲＪ－４５変換コネクタ（ＮＳ－３５４） …… 34
５.３ チェックポイント …… 35

第１章　概要

本書では、ＳＸ－３８４０／４５／５０のハードウェア概要、ハードウェアの操作を記述します。
ＳＸ－３８４０／４５／５０の使用方法は「導入・運用の手引」をご参照ください。

１.１　構成概要

ＳＸ－３８４０／４５／５０の構成図を図１－１、図１－２に示します。
暗号演算基板は出荷時オプションです。ＳＳＬハードウェアオプションありの場合に実装されます。

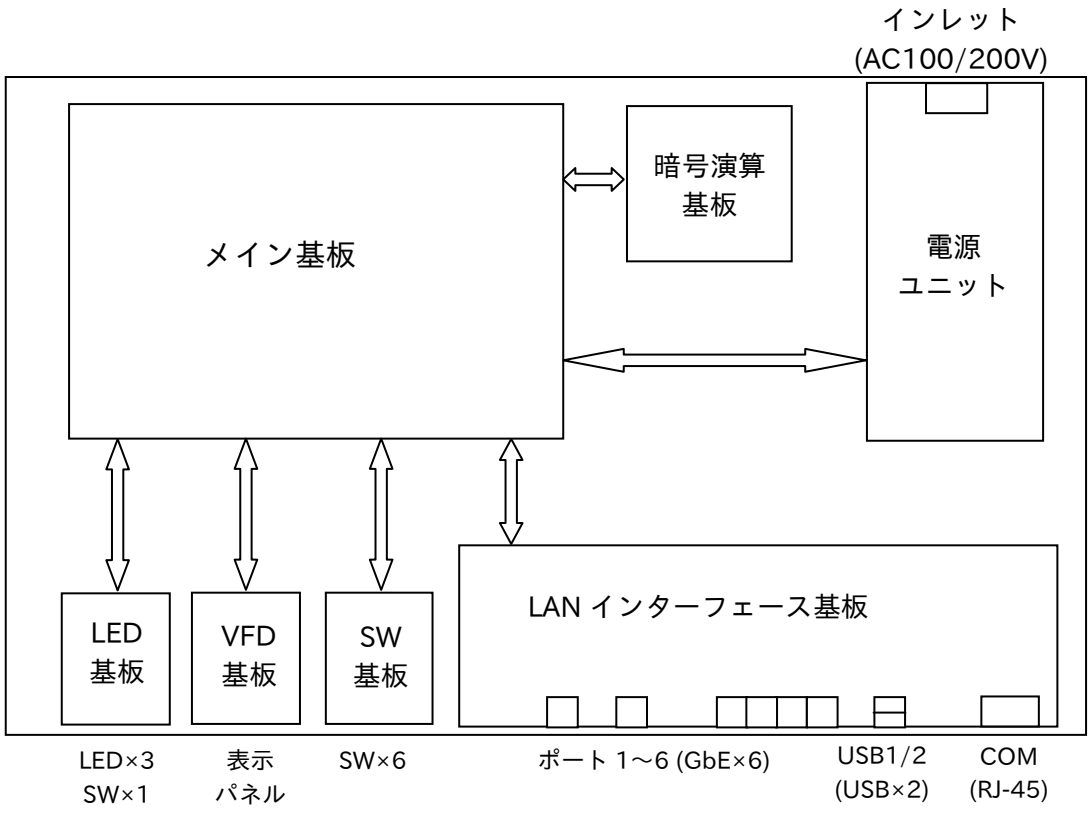


図 １－１　システム構成図（ＳＸ－３８４０）

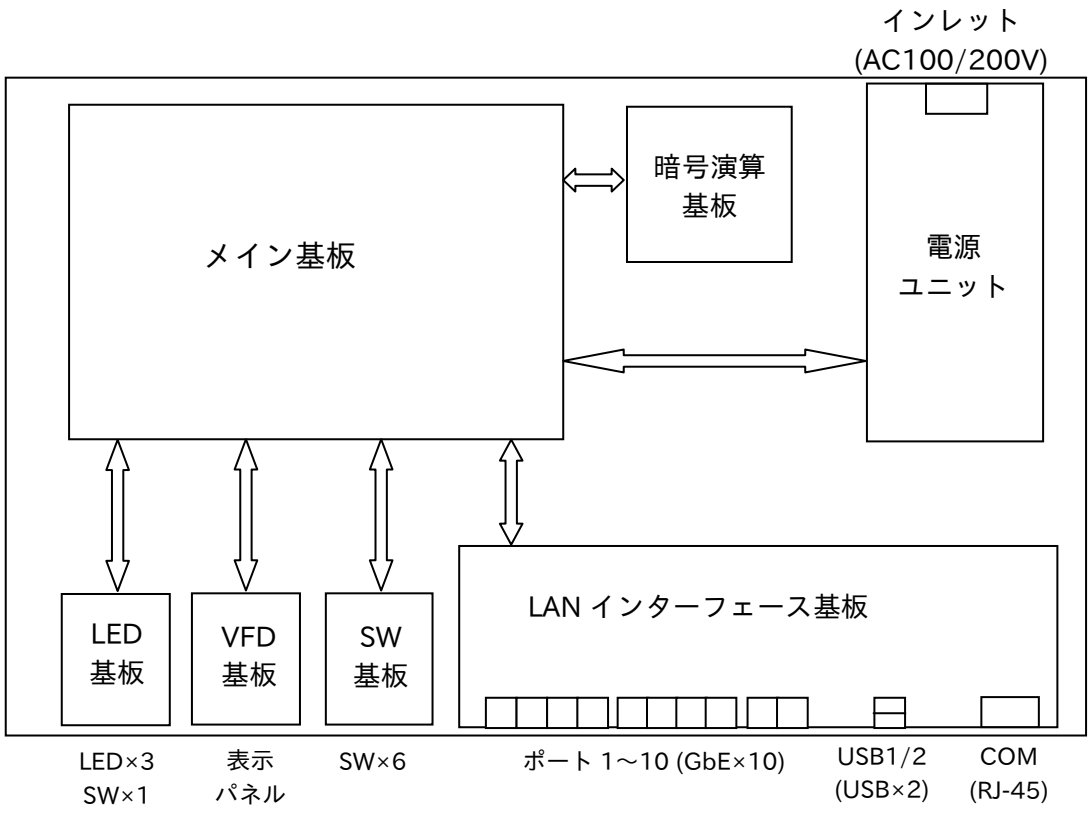


図 １－２　システム構成図（ＳＸ－３８４５／５０）

1.2　諸元

	ＳＸ－３８４０	ＳＸ－３８４５	ＳＸ－３８５０
定　格　電　圧	ＡＣ１００Ｖ±１０％，５０／６０Hz ＡＣ２００Ｖ±１５％，５０／６０Hz		
定　格　電　流	0.９２Ａ（１００Ｖ） 0.４６Ａ（２００Ｖ）	1.２Ａ　（１００Ｖ） 0.５４Ａ（２００Ｖ）	1.３Ａ　（１００Ｖ） 0.６４Ａ（２００Ｖ）
発　　熱　　量	最大３１７ｋＪ／ｈ	最大４０７ｋＪ／ｈ	最大４６１ｋＪ／ｈ
温　度　条　件	０～４０℃		
湿　度　条　件	２０～８５％ＲＨ（ただし結露しないこと）		
設　置　形　態	ラックマウント型（ＥＩＡ　１９インチラック）		
外　形　寸　法	４２７（W）×３８０（D）×４４（H）（ｍｍ）（突起部を除く）		
質　　量	最大６.０ｋｇ		
Ｅ　Ｍ　Ｉ	ＶＣＣＩ－Ａ適合		
電　　池	リチウム電池使用 全期間電源 OFF で約６年、１日８時間電源ＯＮで約９年		

この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
ＶＣＣＩ－Ａ

お願い	電池は有寿命部品です。設定情報が消失するなどの不要なトラブルを予防するため、３～５年のサイクルで定期的に交換することをお奨めします。 また有寿命部品としてはファン、電源がありますので、安心してご使用頂くため同様に交換をお願いします。 電池などの交換作業は弊社が行いますので、弊社の営業担当または保守担当にご相談ください。

1.3　外部資源

電　　源　　単相ＡＣ１００／２００Ｖ　アース端子付コンセント
（電源用のアースは D 種接地）

⚠ 警告
ＡＣ１００Ｖで使用する際は、他の製品の電源コードは使用しないでください。 故障や火災の原因となることがあります。
ＡＣ２００Ｖで使用する際は、オプションのＡＣ２００Ｖ電源コードを使用するか、 日本国内向けの電源コード（ＰＳＥ適合品）を別途ご用意ください。
同梱の電源コードは、ＡＣ１００Ｖ専用です。ＡＣ２００Ｖでは絶対に使用しないで ください。故障や火災の原因となることがあります。

【ＡＣ２００V 電源コード（オプション）について】

- プラグ形状 IEC60320 C14 タイプ　３ｍ
- プラグ形状 IEC60320 C20 タイプ　３ｍ
- プラグ形状 NEMA6-15P タイプ　３ｍ

以上３種類の電源コード（ＰＳＥ適合品）を用意しております。ご希望の場合は弊社営業担当までご相談ください。

⚠ 注意
ＡＣ１００Ｖで使用する際は、同梱された電源コードをご使用ください。
同梱された電源コード、オプションで購入された電源コードは、他の製品に使用しないでください。

１.４　外観図

詳細については一部異なる場合があります。

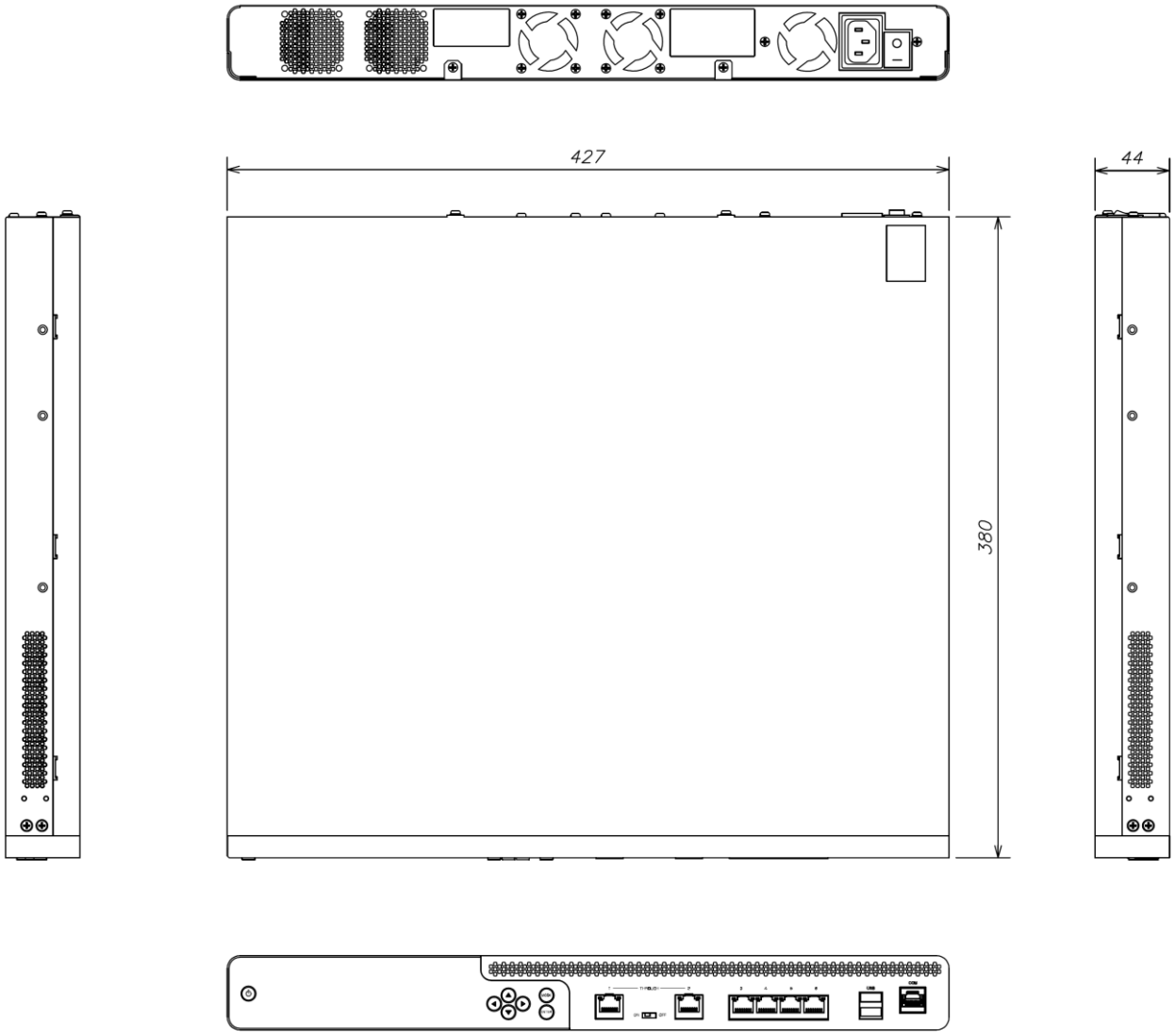


図 １－３　外面図（ＳＸ－３８４０）

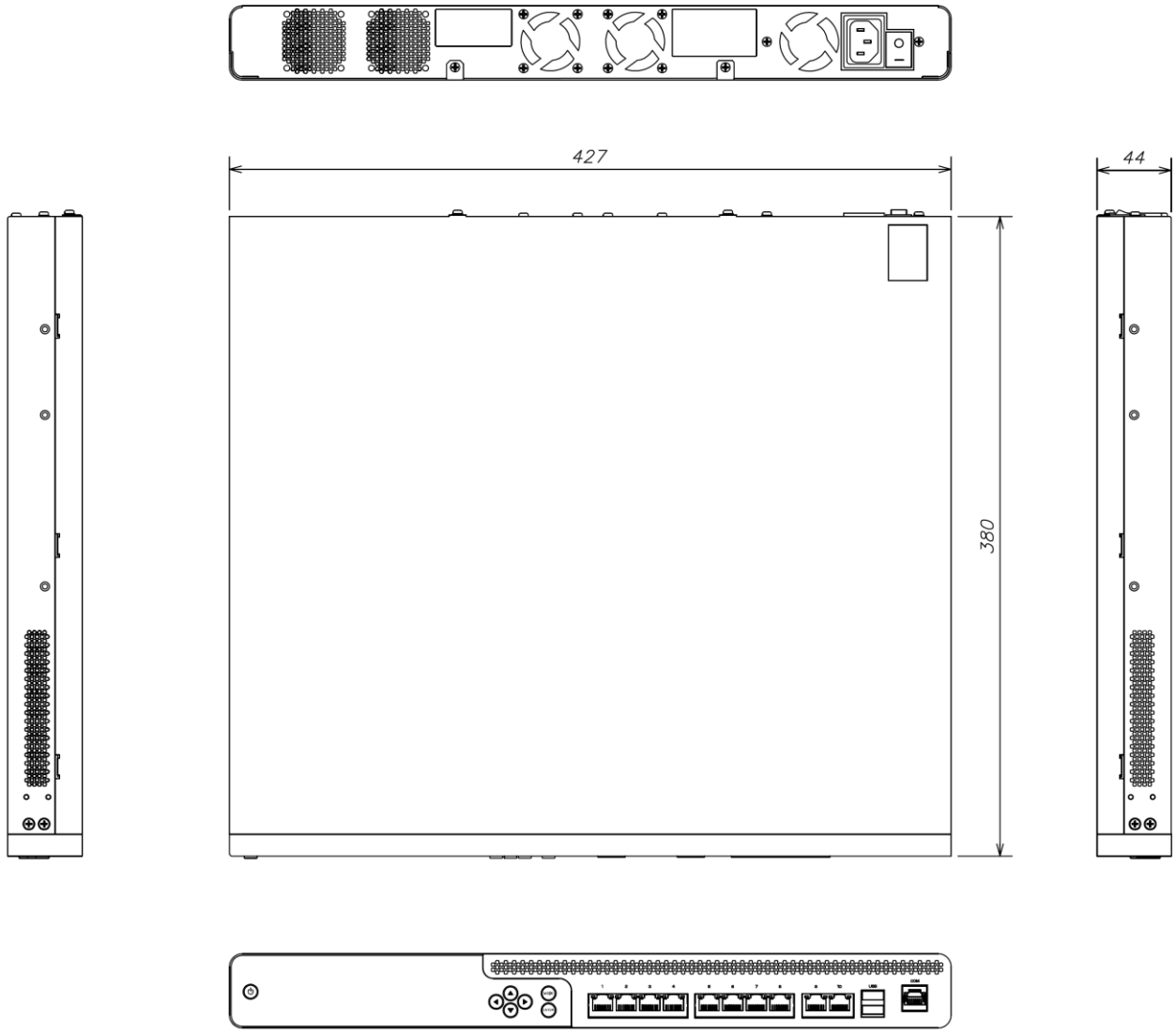


図 １－４　外面図（ＳＸ－３８４５／５０）

第２章　各部の名称と説明

２.１　前面部（ＳＸ－３８４０）

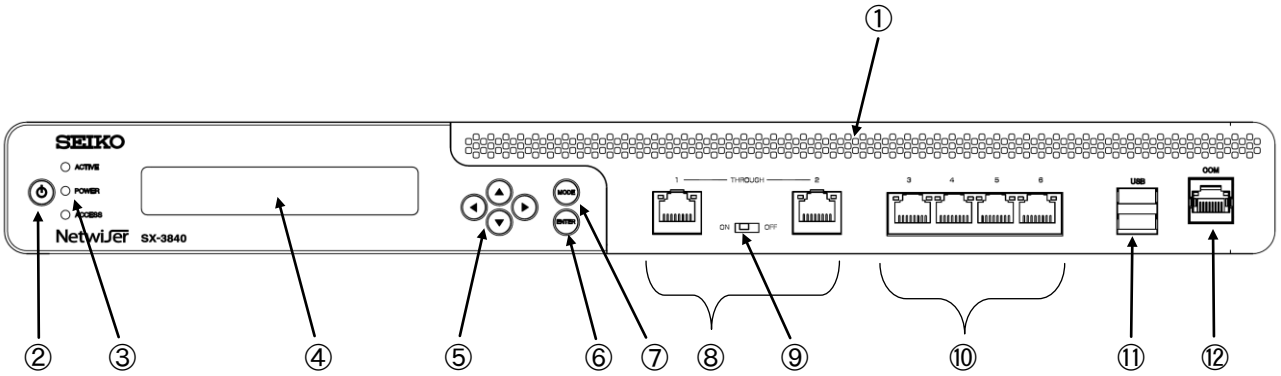


図 ２－１　前面部構成（ＳＸ－３８４０）

① 通気口
筐体内に空気を取入れるための通気口です。
ふさがないようにご注意ください。

② 電源ボタン
本機を電源スタンバイ状態から起動するために使用します。
起動後このボタンでシャットダウンや強制終了することはできません。

③ 動作状態ランプ
現在の動作状態をランプで示します。
上から順に　ACTIVE（緑）　：通常動作時に点灯
　　冗長構成時は ACTIVE 機（点灯）スタンバイ機（消灯）
　　POWER（赤／青）：電源スタンバイ状態（赤）／動作状態（青）
　　ACCESS（赤）　：内部システムストレージへのアクセス時に点灯

④ 表示パネル
２４桁×２行の表示器です。
システム名称やシステムバージョン等の情報が表示されます。
＊ 表示内容については、「導入・運用の手引」をご参照ください。

⑤ 上下左右キー
４方向のスイッチです。各種設定などの操作時に使用します。

⑥ Ｅｎｔｅｒキー
上下左右キーで選んだ設定項目を確定する場合に使用します。

⑦ ＭＯＤＥキー
押すごとに、表示パネルの表示内容が変わります。
＊ キー操作については、「導入・運用の手引」をご参照ください。

⑧ ＬＡＮポートコネクタ【ポート１，ポート２】

- フェイルスルー機能あり（機能の詳細は「導入・運用の手引」をご参照ください。）
- 10BASE-T／100BASE-TX／1000BASE-T　オートネゴシエーション
- Auto MDI／MDI-X　対応

コネクタ左のＬＥＤはリンクした速度の状態を表示し、１０Ｍ（消灯）、１００Ｍ（緑）、１０００Ｍ（橙）で点灯します。
コネクタ右のＬＥＤ（黄）はデータ送受信時に点滅となります。

⑨ スルースイッチ

フェイルスルー機能の有効／無効を設定するスイッチです。
フェイルスルー機能が無効のときは、⑧と⑩は同じ動作となります。

スルー スイッチ	フェイル スルー機能	電源ＯＦＦ時 または障害発生時	通常時
ＯＮ	有効	ポート１－２間が 接続されます	ポート１とポート２は、 それぞれ内部の通信用ＩＣに 接続され通信が行われます
ＯＦＦ	無効	ポート１－２間が 接続されません	

お願い	フェイルスルー機能を無効にしてご使用になる場合は、スルースイッチをＯＦＦに切り替えて一度システムの起動確認を行った後、ポート１とポート２にケーブルを接続してください。 スルースイッチの切り替えは、電源ＯＦＦの状態で行ってください。

! ﾜﾝﾎﾟｲﾝﾄ	フェイルスルー動作時、ポート１とポート２は内部でクロス結線となっておりますので、両ポート共にストレートケーブルでハブに接続できます。 接続先が両方とも Auto MDI/MDI-X 非対応のハブの場合は、必ずストレートケーブルをご使用ください。クロスケーブルは使用できません。

⑩ ＬＡＮポートコネクタ【ポート３～６】

- 10BASE-T／100BASE-TX／1000BASE-T　オートネゴシエーション
- Auto MDI／MDI-X　対応
- フェイルスルー機能なし

コネクタ左のＬＥＤはリンクした速度の状態を表示し、１０Ｍ（消灯）、１００Ｍ（緑）、１０００Ｍ（橙）で点灯します。
コネクタ右のＬＥＤ（黄）はデータ送受信時に点滅となります。

お願い	ネットワークの接続には、必ずエンハンスドカテゴリ５（ＣＡＴ.５ｅ）以上のＬＡＮケーブルをご使用ください。 ネットワーク速度の低下や通信エラーの発生など、期待するパフォーマンスが得られない場合があります。

⑪ ＵＳＢポートコネクタ
メンテナンス用です。本機ではセキュリティ上無効となっています。

⑫ ＣＯＭポートコネクタ
メンテナンス用のシリアルコンソールポート（ＲＳ－２３２Ｃ）です。
クロスケーブルで他の機器と接続します。

- コネクタ：ＲＪ－４５

クロスケーブルについては「5.2　Dサブ９ピン／ＲＪ－４５変換コネクタ（ＮＳ－３５４）」をご参照ください。

２.２　前面部（ＳＸ－３８４５／５０）

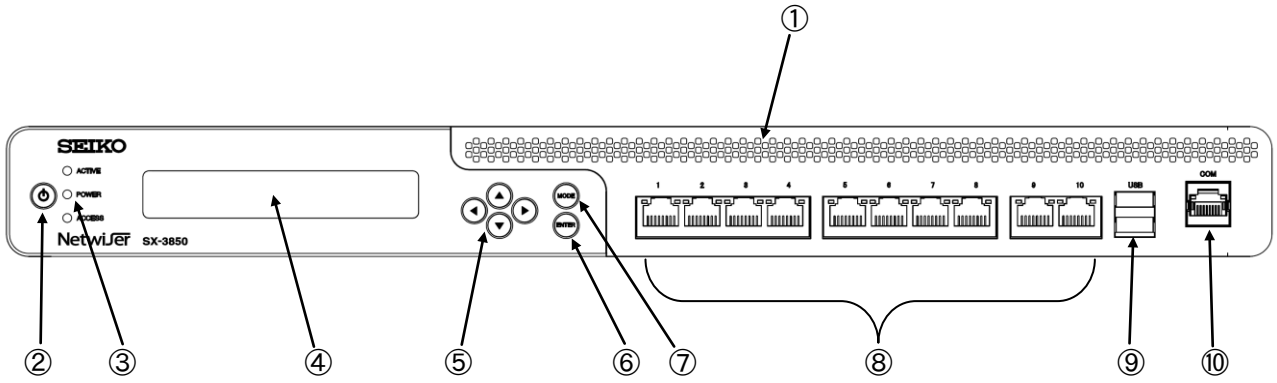


図 ２－２　前面部構成（ＳＸ－３８４５／５０）

① 通気口
筐体内に空気を取り入れるための通気口です。
ふさがないようにご注意ください。

② Ｐｏｗｅｒボタン
本機を電源スタンバイ状態から起動させるときに使用します。
起動後このボタンでシャットダウンや強制終了することはできません。

③ 動作状態ランプ
現在の動作状態をランプで示します。
上から順に　ACTIVE（緑）　：通常動作時に点灯
　　冗長構成時は ACTIVE 機（点灯）スタンバイ機（消灯）
　　POWER（赤／青）：電源スタンバイ状態（赤）／動作状態（青）
　　ACCESS（赤）　：内部システムストレージへのアクセス時に点灯

④ 表示パネル
２４桁×２行の表示器です。
システム名称やシステムバージョン等の情報が表示されます。
＊ 表示内容については、「導入・運用の手引」をご参照ください。

⑤ 上下左右キー
４方向のスイッチです。各種設定などの操作時に使用します。

⑥ Ｅｎｔｅｒキー
上下左右キーで選んだ設定項目を確定する場合に使用します。

⑦ ＭＯＤＥキー
押すごとに、表示パネルの表示内容が変わります。
＊ キー操作については、「導入・運用の手引」をご参照ください。

⑧ ＬＡＮポートコネクタ

- 10BASE-T／100BASE-TX／1000BASE-T　オートネゴシエーション
- Auto MDI／MDI-X　対応
- フェイルスルー機能なし

コネクタ左のＬＥＤはリンクした速度の状態を表示し、１０Ｍ（消灯）、１００Ｍ（緑）、１０００Ｍ（橙）で点灯します。
コネクタ右のＬＥＤ（黄）はデータ送受信時に点滅となります。

お願い	ネットワークの接続には、必ずエンハンスドカテゴリ５（ＣＡＴ.５ｅ）以上のＬＡＮケーブルをご使用ください。 ネットワーク速度の低下や通信エラーの発生など、期待するパフォーマンスが得られない場合があります。

⑨ ＵＳＢポートコネクタ
メンテナンス用です。本機ではセキュリティ上無効となっています。

⑩ ＣＯＭポートコネクタ
メンテナンス用のシリアルコンソールポート（ＲＳ－２３２Ｃ）です。
クロスケーブルで他の機器と接続します。

- コネクタ：ＲＪ－４５

クロスケーブルについては「5.2　Dサブ９ピン／ＲＪ－４５変換コネクタ（ＮＳ－３５４）」をご参照ください。

2.3　背面部（ＳＸ－３８４０／４５／５０共通）

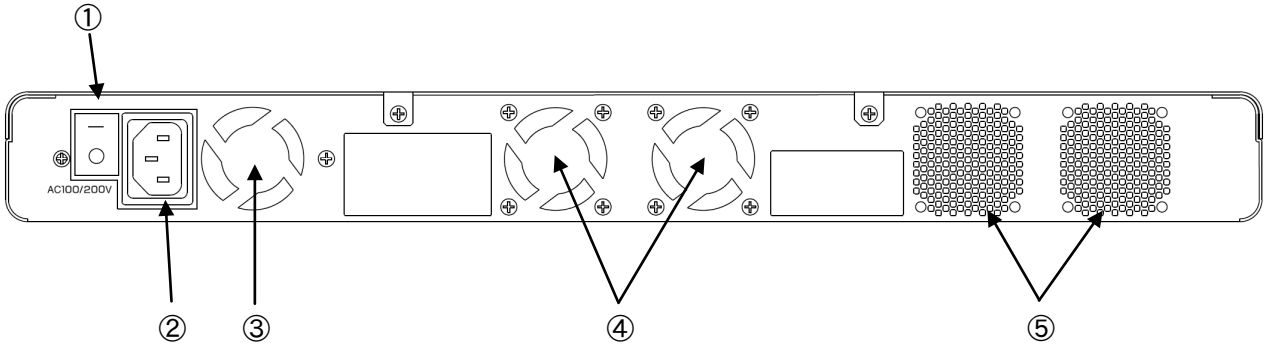


図 ２－３　背面部構成（ＳＸ－３８４０／４５／５０共通）

① 主電源スイッチ
本体の電源投入スイッチです。「｜」側に倒すと電源がＯＮとなります。

	システムの動作中にこの主電源スイッチをＯＦＦにすると、設定情報やログが消失するおそれがあります。必ず前面のキーでシャットダウン操作を行った後にＯＦＦにしてください。 シャットダウン操作については、「4.2　設置確認作業」をご参照ください。
	主電源スイッチを切った後、再度電源を入れる場合は、誤動作を防ぐため、１０秒ほど待ってから行ってください。

② インレット（ＡＣ１００／２００Ｖ）
ＡＣ１００Ｖ電源に接続する場合は、同梱の電源コードを接続します。
ＡＣ２００Ｖ電源に接続する場合は、オプションのＡＣ２００Ｖ電源コードか、別途ご用意された日本国内向けの電源コード（ＰＳＥ適合品）を接続します。

③ ④ ⑤　排気ファンおよび通気口
筐体内の熱を排出するための通気口です。
ふさがないようにご注意ください。

第３章　設置前の作業

本章ではＳＸ－３８４０／４５／５０を設置するにあたり、確認しなくてはならない条件など（設置環境、保守エリア、電源）について記述されています。

３.１　設置環境の確認

以下の警告および注意をお守りください。

⚠ 警告
＜本機＞に水が入ったり、濡らさぬようにご注意ください。 火災・感電の原因となります。
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
＜本機や電源コード＞の上に重いものを乗せないでください。 内部回路や部品、および電源コードが破損して、火災・感電の原因となります。
＜本機＞の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。 万一、内部に異物（金属片、水、液体など）が入った場合は、まず本体の電源を切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、弊社サービス窓口にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意
本機や電源コードを熱器具のそばに近づけないでください。 内部回路や部品、および電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
油が飛ぶそばやほこりの多い場所で使用しないでください。 火災・感電の原因となることがあります。
酸など腐食性の高い物質や強磁力機器などの影響があるところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
自動車に乗せて使用しないでください。また、震動の激しい場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。 また通気口をふさがないでください。 内部の温度が上がり火災の原因となることがあります。

上記の警告と注意および下記の条件を考慮の上、設置場所を選んでください。

温　度　条　件	０～４０℃
湿　度　条　件	２０～８５％ＲＨ（ただし結露しないこと）
設　置　条　件	接続するケーブルに無理な力がかからないように、ケーブルを取付ける空間を確保してください。

３.２　保守エリアの確保

本機を設置するときは、下記に示す保守エリア（網掛け部分）を確保してください。

本機はラックマウント用に設計されています。同梱のラックマウントキットを使用してラックに設置することができます。

- ラック前後扉の開閉空間
- 保守員の作業空間

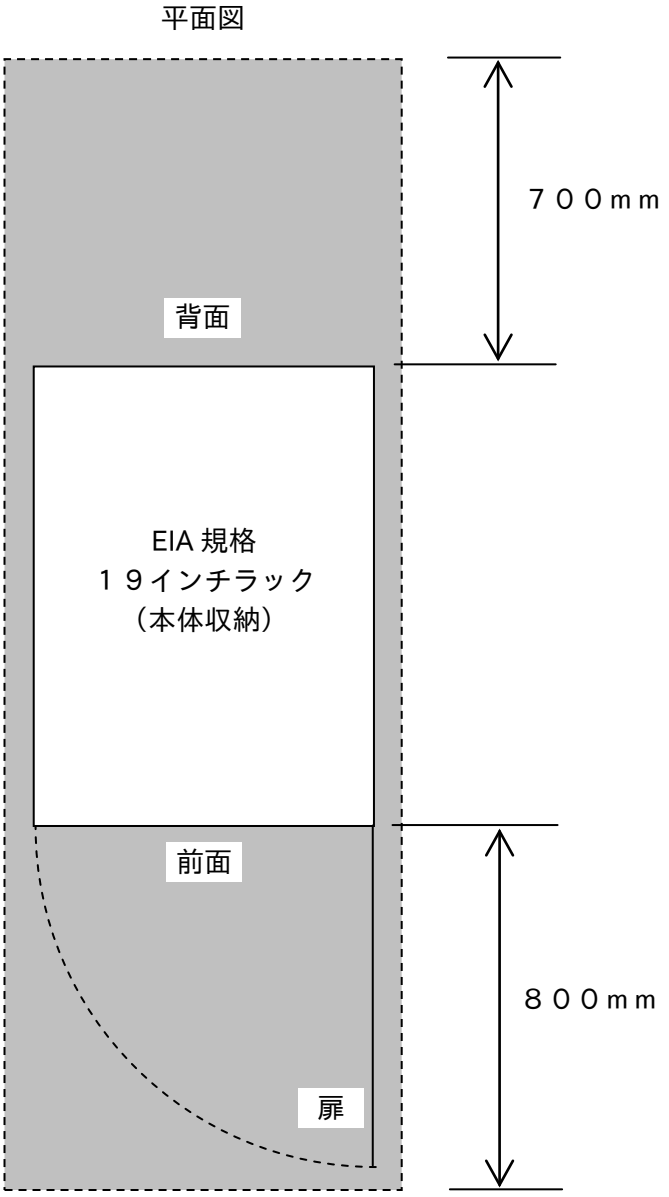


図　３－１　ラック設置時の保守エリアの例

（注）ラックによって異なる場合がありますので事前にご確認ください。（次章参照）

3.3　供給電源の確認

- 供給電源のコンセントの電圧をご確認ください。
- アースは「D種接地」されているものをご使用ください。

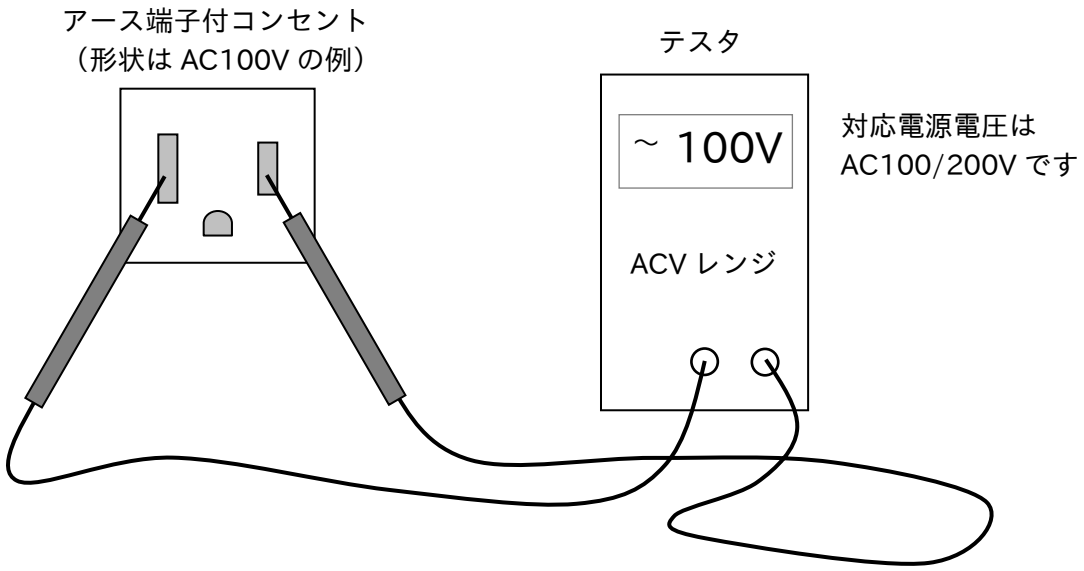


図 3－2　供給電源電圧の確認

⚠ 警告
＜ＡＣ１００／２００Ｖ電源＞以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
＜電源コード＞が傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、差し込みプラグを抜いて弊社サービス窓口に修理をご依頼ください。
濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意
アース線は、水道管やガス管などにつながず、必ずＤ種接地工事がされているアースにつないでください。 火災・感電・誤作動の原因となることがあります。
コンセントから差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
近くに雷が発生したときは、差し込みプラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

［ 空　白 ］

第４章　設置作業

本章では、ＳＸ－３８４０／４５／５０を設置するにあたって守っていただきたい事項や作業内容について記述されています。

⚠ 警告	
	＜本機＞の分解（ネジをとる、ふたを外すなど)、および改造を行わないでください。火災・感電の原因となります。
	＜電源コード＞を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。 また、重いものを乗せたり、加熱したりすると＜電源コード＞が破損し、火災・感電の原因となります。＜電源コード＞が傷んだら弊社サービス窓口に修理をご依頼ください。
	＜本機＞の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水および飲み物の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。 こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意	
	本機をあお向けや横倒し、逆さまにしないでください。通風口がふさがり本機の内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。
	本機に乗ったり、重いものを置かないでください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

お願い	本機にはリチウム電池が内蔵されていますので、本機を破棄するときは弊社サービス窓口にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。
お願い	各インターフェイスケーブルは、設置作業が完了してから接続してください。また、設定値によりネットワークに障害を発生させる恐れがあります。「導入・運用の手引」を参照して正しい値を設定してください。

４.１　ラックマウント方法

本機にはラックマウントキットが同梱されており、これを使用してＥＩＡ規格１９インチラックに設置することができます。

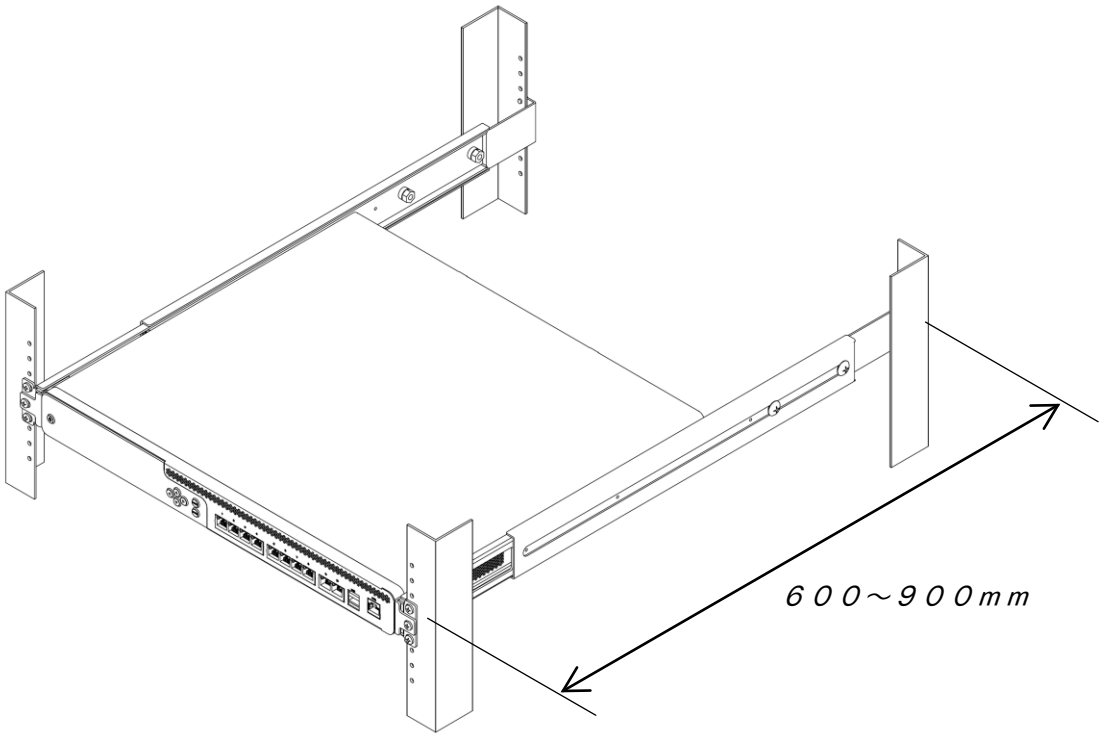


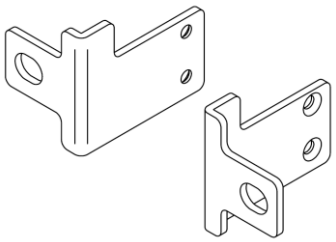
図 ４－１　ラック取付け　完成図

お願い	下記１～３を満たしていないラックには取付けられませんので、事前にご使用になるラックの仕様をご確認ください。 １．取付け穴がユニバーサルピッチであること ２．背面にも取付け穴があること ３．前後の取付け穴の間隔が６００～９００ｍｍの範囲内であること

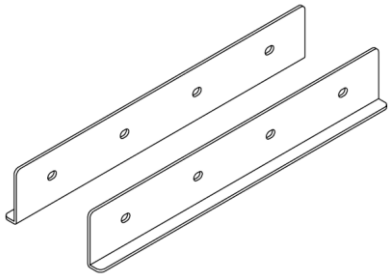
４.１.１　ラックマウントキット

同梱のラックマウントキットは下記部品で構成されています。
この他に、組立用にＭ３サラネジ４本と Ｍ４バインドネジ６本があります。

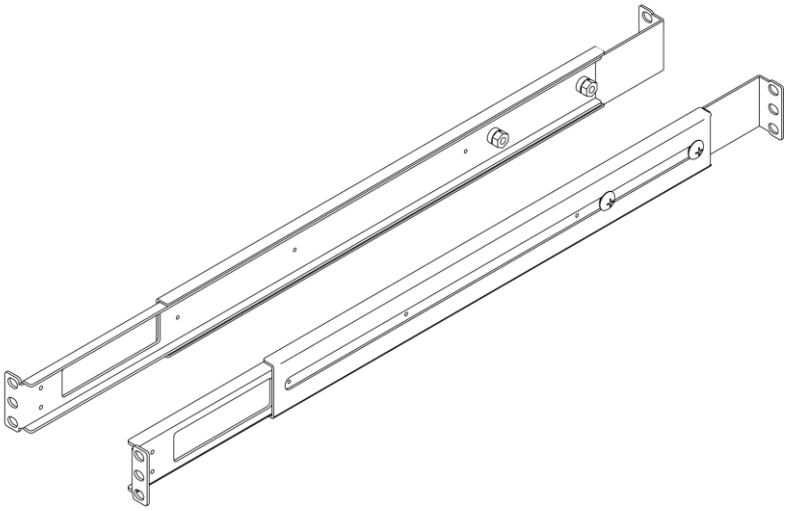
お願い	ラックへ取付けるネジは同梱しておりませんので、ご使用になるラックに合わせて市販品をご用意ください。 取付ける箇所は、前面が左右３ヶ所ずつ、背面が左右２ヶ所ずつです。



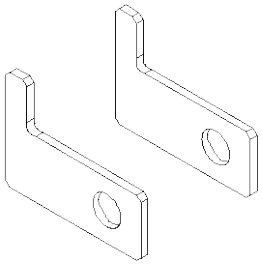
① ラック取付用耳



② スライド金具



③ ラックマウントレール



④ 補助金具

図 ４－２　ラックマウントキット

４.１.２　外観図

ラックマウント時の外観を示します。

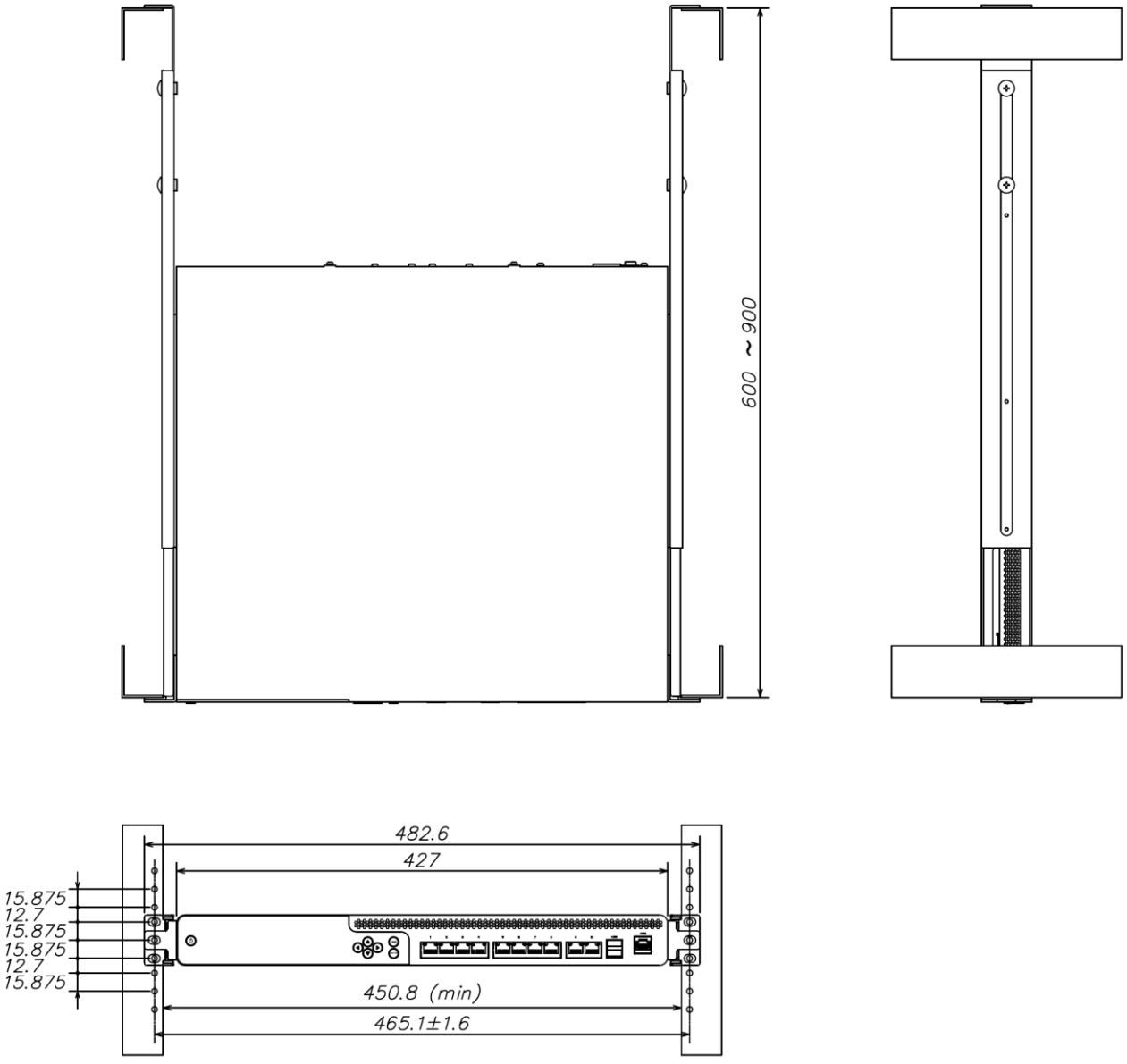


図 ４－３　ラックマウント時の外観図

４.１.３　ラックへの取付け

以下、ラックマウントキットの組立方法およびラックへの取付け方法を解説します。

① 本体にラック搭載用の金具を取付ける。
本体側面に本体ガイドレールをＭ４バインドネジ６本でしっかりと取付けます。

次にラック取付用の耳を左右の部品の違いに注意して、Ｍ３サラネジ４本で取付けます。

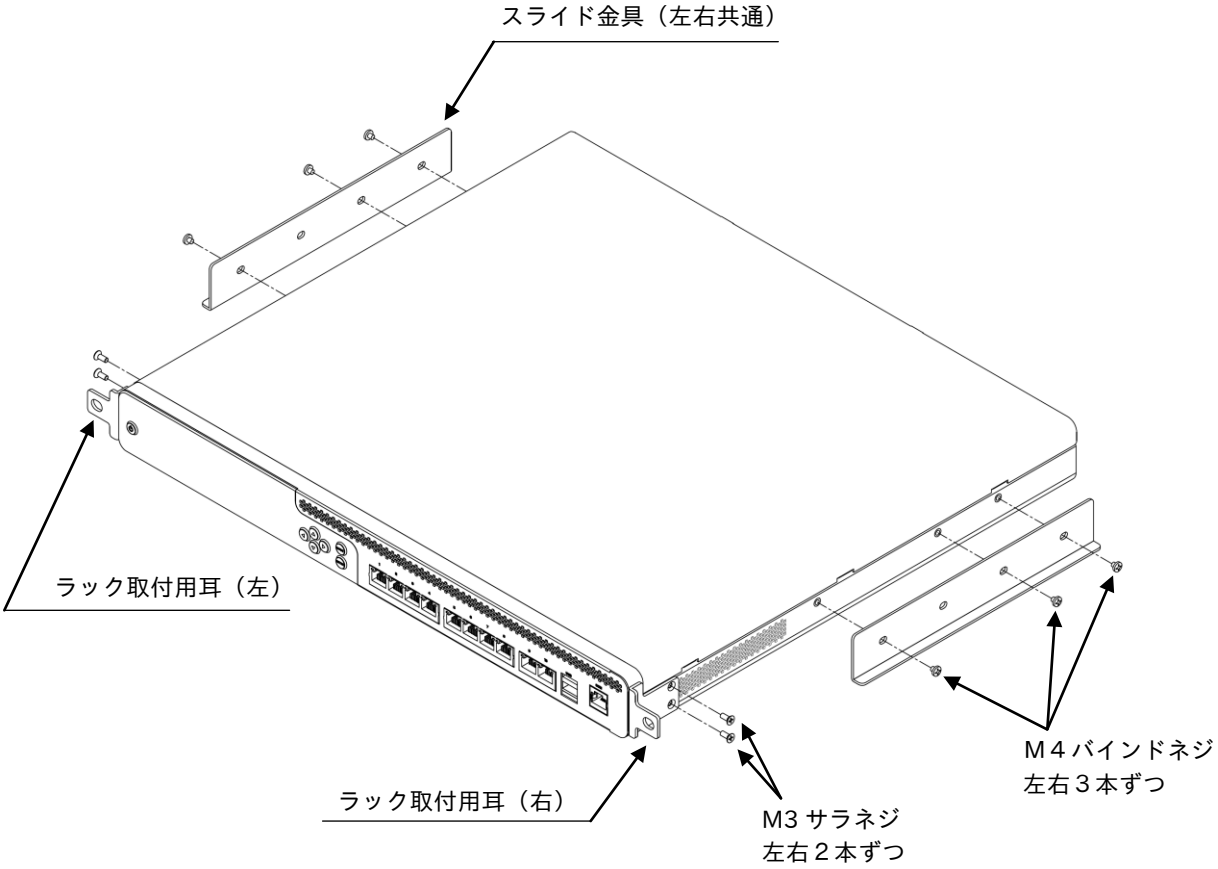


図　４－４　本体への金具の取付け

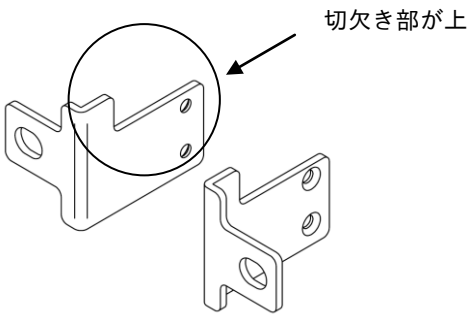


図　４－５　ラック取付用耳の左右区別

② ラック背面に補助金具を取付ける。
ラックマウントレールをラックに取付ける前に、下図のようにラックの背面に補助金具を取付けます。
この補助金具を使うと、ラックの背面でラックマウントレールを支える必要がないので、１人でも作業することが可能です。
２人以上で作業する場合は、補助金具を使う必要はありません。

※ ネジはご使用になるラックに合わせて市販品をご用意ください。

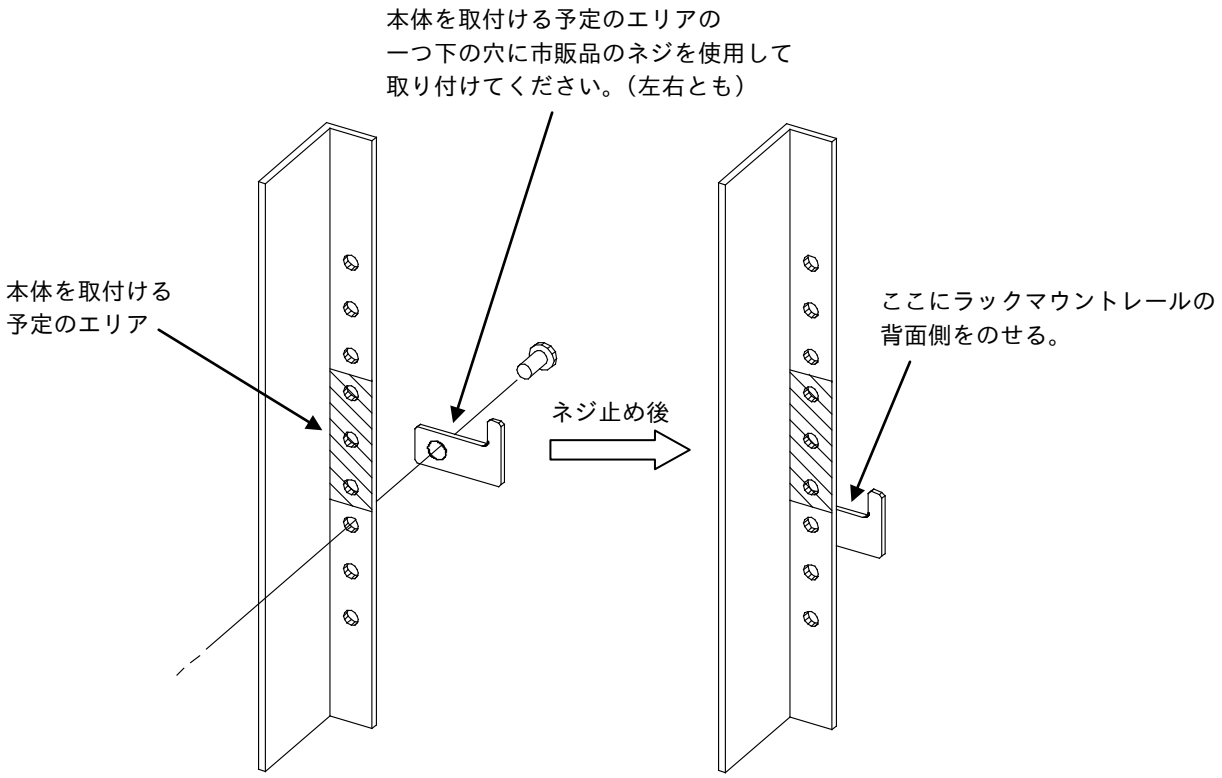


図 ４－６　補助金具の使い方

お願い	ラックマウントレールの設置が終わったら、補助金具はラックから取り外してください。

③ ラックマウントレールをラックに取付ける。
ラックマウントレールの長さをご使用になるラックに合わせて調節します。
前後各２本ずつ、左右で合計８本のネジを使用し、一旦仮締めしてください。

※ ネジはご使用になるラックに合わせて市販品をご用意ください。

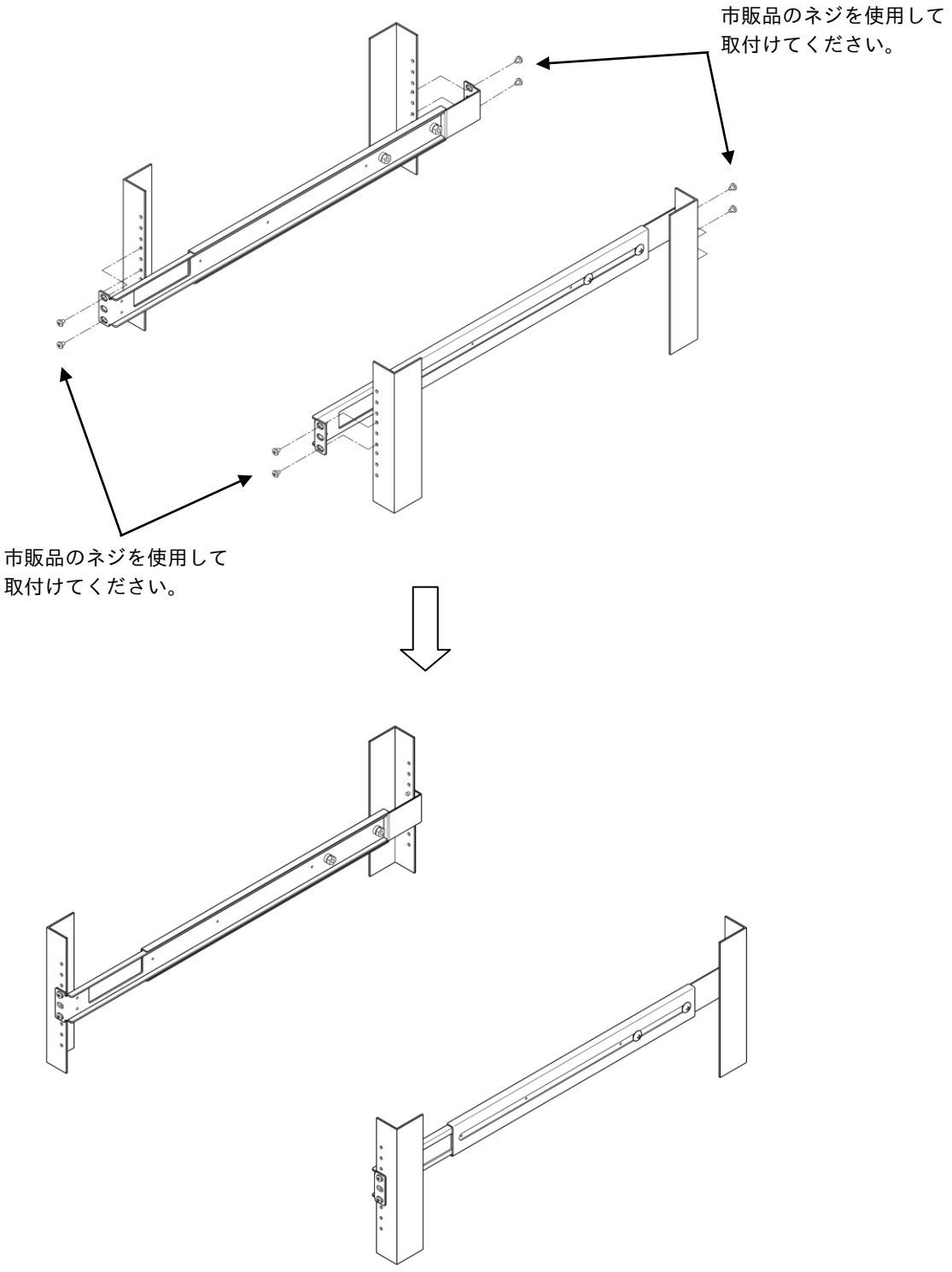


図 ４－７　ラックマウントレールの設置

④ 本体をラックにおさめる。
本体ガイドレールを、ラックに設置したラックマウントレールのガイドに合わせて差し込み、そのままスライドさせてください。
本体が収まるのを確認して、③で仮締めしたネジを本締めします。
最後にラック取付用耳をネジで固定したら完了です。

※ 前面のネジはご使用になるラックに合わせて市販品をご用意ください。

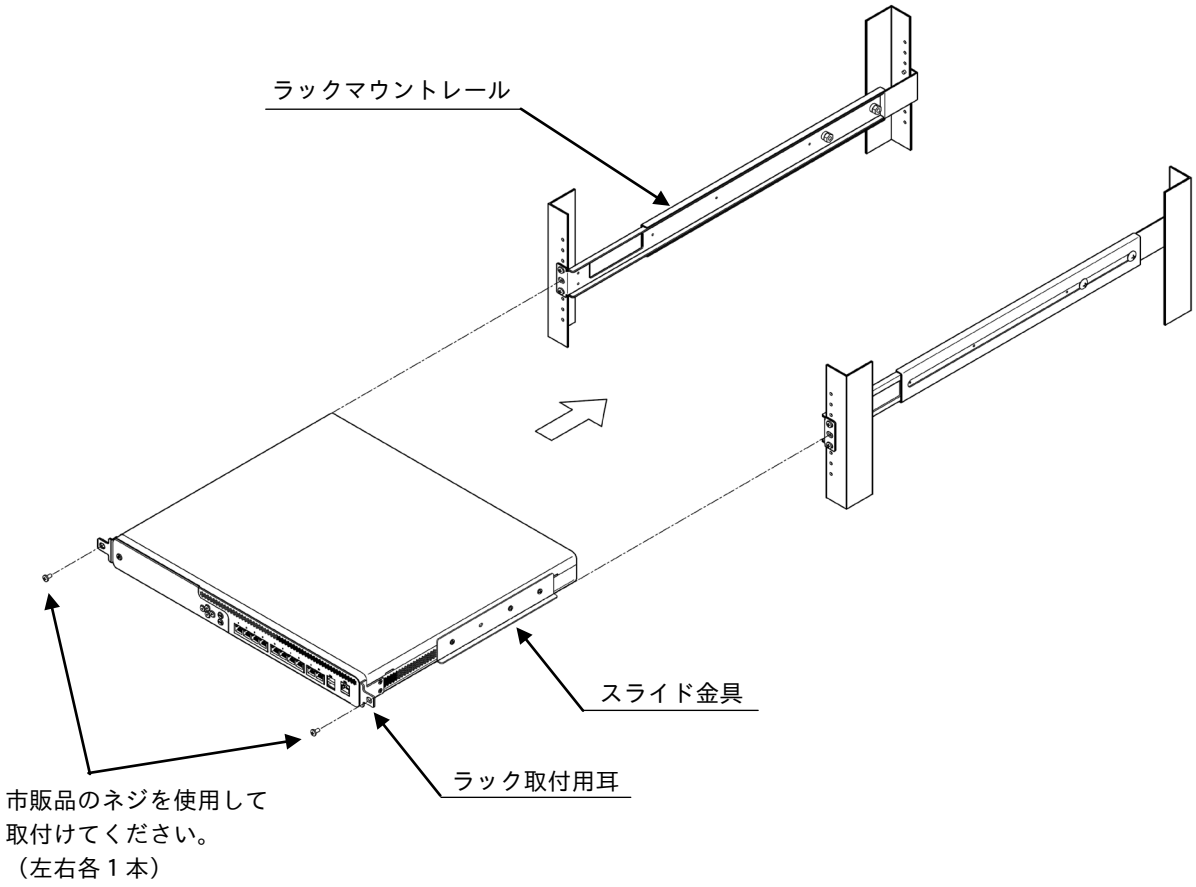


図 ４－８　本体の設置

⑤ ケーブルを接続する。
電源ケーブル及び、ＬＡＮケーブルを所定の位置に接続します。
ＬＡＮケーブルは、差し込んだときに「カチッ」と音がするのを確認してください。

⚠ 警告
ＡＣ１００Ｖで使用する際は、他の製品の電源コードは使用しないでください。 故障や火災の原因となることがあります。
ＡＣ２００Ｖで使用する際は、オプションのＡＣ２００Ｖ電源コードを使用するか、 日本国内向けの電源コード（ＰＳＥ適合品）を別途ご用意ください。
同梱の電源コードは、ＡＣ１００Ｖ専用です。ＡＣ２００Ｖでは絶対に使用しないでください。故障や火災の原因となることがあります。

４.２　設置確認作業

① 背面の主電源スイッチをＯＮにすると起動します。
前面の表示パネルの表示を確認してください。

－ 起動すると下記のような表示になります。

```
＊＊＊＊　Ｉｎｉｔｉａｌｉｚｉｎｇ　＊＊＊＊
```

－ しばらくすると下記のような表示になり、システムが起動します。

```
Ｓｙｓｔｅｍ　Ｓｔａｒｔｕｐ　...
```

－ システム起動後、下記のような表示になれば正常です。

```
Ｎｅｔｗｉｓｅｒ　ｖ７．ＸＸ．ＸＸ　Ｓ
```

ＸＸ．ＸＸはファームウェアのバージョン番号が表示されます。
ＳＳＬハードウェアオプション実装時は上の例のように末尾に「Ｓ」が表示されます。

表示が上記の通りでない場合は、「５.２　チェックポイント」をご参照ください。

② 電源が正常に切れることを確認してください。
前面のスイッチからシャットダウン操作を行います。

－ ＭＯＤＥキーを押してシステムモードに変更します。
システムモードになると下記のような表示になります。

```
 Ｓｙｓｔｅｍ　Ｓｅｔｔｉｎｇｓ
Ｅｎｔｅｒ　Ｋｅｙｃｏｄｅ［？？？？？？］
```

－ キーコードを正しく入力すると下記のようにメニューが表示されます。
（デフォルトキーコードは６桁全て［上キー］です）

```
［ １．　Ｓｙｓｔｅｍ　ＩＰ　Ａｄｄｒｅｓｓ　］
  ２．　Ｄｅｆａｕｌｔ　Ｒｏｕｔｅｒ
```

上下キーを押すことによって選択し、Ｅｎｔｅｒキーで確定します。
選択している項目は［　　］で囲まれて表示されます。

－ Ｓｈｕｔｄｏｗｎを選択し、Ｅｎｔｅｒキーを押すと下記の表示になります。

```
  ８．　Ｓｈｕｔｄｏｗｎ
        ＯＫ　［ＣＡＮＣＥＬ］
```

ＯＫとＣＡＮＣＥＬは、左右キーを押すことにより、選択が切り替ります。

－ ＯＫを選択し、Ｅｎｔｅｒキーを押すと、シャットダウン処理を実施後、電源スタンバイ状態になります。フロントパネルのＰＯＷＥＲランプが青から赤に変わったら、背面の主電源スイッチをＯＦＦにしてください。

－ 電源スタンバイ状態にならない場合は、「５.３　チェックポイント」をご参照ください。

お願い	背面の主電源スイッチはシステム動作中にはＯＦＦにしないでください。 設定情報やログが消失するおそれがあります。

お願い	計画停電時などで機器の電源を切る場合は、機器を保護するために事前にシャットダウンを行い機器の電源スイッチをＯＦＦにしてください。 また、電源復旧時はＡＣコンセントの電圧が一時的に不安定になる可能性があります。機器の電源スイッチをＯＮにして起動してください。

⚠ 警告
異常音がしたり、＜本機＞が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 すぐに本体の電源を切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて弊社サービス窓口に点検をご依頼ください。

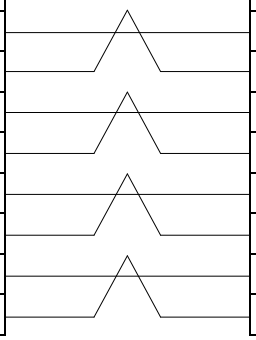
第５章　参考

５.１　ＬＡＮポート用ストレートケーブル

下記を参考に、適正なケーブルをご用意ください。

ＲＪ－４５　プラグ

端子番号	記号
1	ＴＲＤ＋（０）
2	ＴＲＤ－（０）
3	ＴＲＤ＋（１）
6	ＴＲＤ－（１）
4	ＴＲＤ＋（２）
5	ＴＲＤ－（２）
7	ＴＲＤ＋（３）
8	ＴＲＤ－（３）



ＲＪ－４５プラグ

記号	端子番号
ＴＲＤ＋（０）	1
ＴＲＤ－（０）	2
ＴＲＤ＋（１）	3
ＴＲＤ－（１）	6
ＴＲＤ＋（２）	4
ＴＲＤ－（２）	5
ＴＲＤ＋（３）	7
ＴＲＤ－（３）	8

信号線の説明（1000BASE-T）

端子番号	信号名	記　号	機能概要
1	データ０	ＴＲＤ＋（０）	データ０の送信および受信（＋）
2	データ０	ＴＲＤ－（０）	データ０の送信および受信（－）
3	データ１	ＴＲＤ＋（１）	データ１の送信および受信（＋）
4	データ２	ＴＲＤ＋（２）	データ２の送信および受信（＋）
5	データ２	ＴＲＤ－（２）	データ２の送信および受信（－）
6	データ１	ＴＲＤ－（１）	データ１の送信および受信（－）
7	データ３	ＴＲＤ＋（３）	データ３の送信および受信（＋）
8	データ３	ＴＲＤ－（３）	データ３の送信および受信（－）

お願い	ネットワークの接続には、必ずエンハンスドカテゴリ５（ＣＡＴ.５ｅ）以上のＬＡＮケーブルをご使用ください。 ネットワーク速度の低下や通信エラーの発生など、期待するパフォーマンスが得られない場合があります。

5.2　Dサブ9ピン／ＲＪ－４５変換コネクタ（ＮＳ－３５４）

ＳＸ－３８４０／４５／５０は、Dサブ9ピン／ＲＪ－４５変換コネクタ（ＮＳ－３５４）を同梱しています。コネクタの結線は下記「ＮＳ－３５４結線図」をご参照ください。

下図の接続例のように、ストレート結線のＬＡＮケーブルで本機のＣＯＭポートと接続してご使用ください。

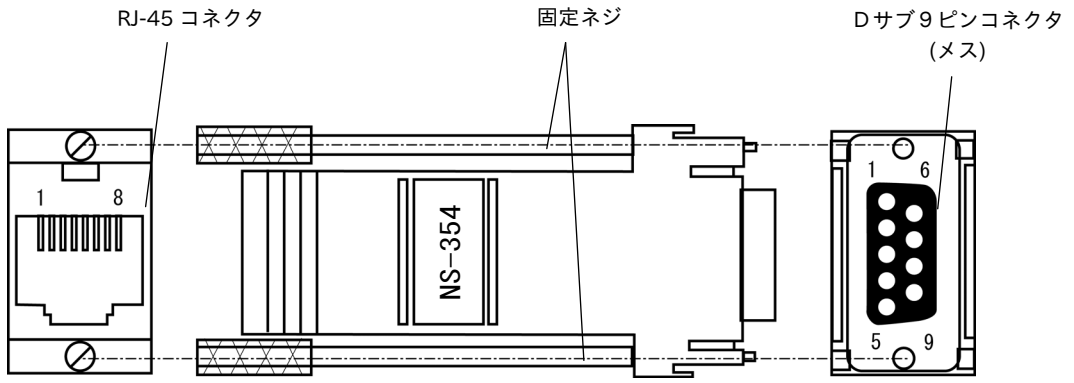


図 ５－１　ＮＳ－３５４の外観

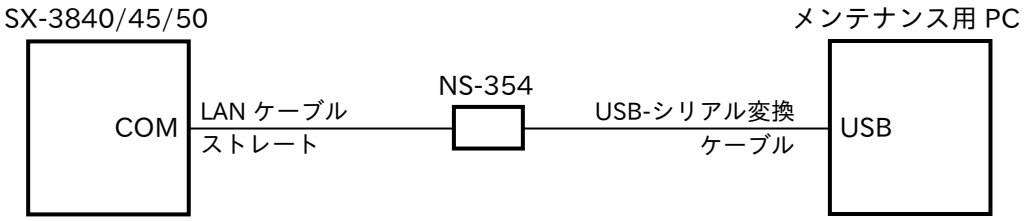


図 ５－２　接続例

ＮＳ－３５４結線図

ＲＪ－４５　メス

端子番号	信号名
1	ＲＳ
2	ＥＲ
3	ＴＤ
4	ＳＧ
5	ＳＧ
6	ＲＤ
7	ＤＲ
8	ＣＳ

Dサブ9ピン　メス

信号名	端子番号
ＣＤ	1
ＲＤ	2
ＴＤ	3
ＥＲ	4
ＳＧ	5
ＤＲ	6
ＲＳ	7
ＣＳ	8
ＣＩ	9

5.3　チェックポイント

電源投入後、前面パネルのランプ類が点灯しない	
【確認箇所および状況】	【対策および原因】
電源コード	プラグのゆるみおよび抜けがないか、ご確認ください。
供給電源	電圧を調査してください。（図３－２参照）
主電源スイッチ	背面の主電源スイッチの入れ忘れがないか、ご確認ください。

電源投入後	
イニシャル表示で停止する	背面の主電源スイッチを切り、時間をおいてから再度電源を入れてください。それでも停止する場合は弊社サービス窓口にご連絡ください。
前面パネルの表示が正しくない	電源を切り、時間をおいてから再度電源を入れてください。 それでも異常な時は弊社サービス窓口にご連絡ください。
シャットダウン操作を行っても 電源スタンバイ状態にならない	時間を置いてから再度シャットダウンを行ってください。 それでも異常なときは弊社サービス窓口にご連絡ください。
それ以外の異常表示状態のとき	電源を切り、時間をおいてから再度電源を入れてください。 それでも異常な時は弊社サービス窓口にご連絡ください。

⚠ 警告	
	万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、その後、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して弊社サービス窓口に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	万一、＜本機＞を落としたり、破損した場合、本体の電源を切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、弊社サービス窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	万一、内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、弊社サービス窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	万一、内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、差し込みプラグをコンセントから抜いて、弊社サービス窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

NetwiSer

SX-3850
SX-3845
SX-3840

取　扱　説　明　書

発 行 年 月	2014 年 9 月
版　　数	第 1.0 版
文書コード	SJ242700901-1

発行　セイコーソリューションズ株式会社
〒261-8507
千葉県千葉市美浜区中瀬 1-8
EMAIL : support@seiko-sol.co.jp